絶版書籍もこれで復活。書店のかたちも変わるかもしれない。そんなプロジェクトが、このほど、三省堂から発表された。これは、電子書籍のデータを下に店頭で書籍を製本するというもの（「三省堂書店オンデマンド」）で、三省堂によると、今秋からスタートするという。

現在、オンデマンド出版は、スピード化が進んでいる。米オンデマンドブックス社の「エスプレッソ・ブック・マシーン」を使えば、コーヒー（エスプレッソ）を飲んでいる間にできてしまう。ただ、データが必要で、そのデータはグーグルブックスや国内出版社からの提供になる予定という。まずは、神保町本店から導入し、その後順次拡大していくという。